

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
052035_横手市	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	学校が抱える課題を明確化し、その課題を解決するために、どのように地域と連携・協働していけばいいかイメージできない。	教職員、地域学校協働活動推進員、地区交流センター長を対象とした市独自のCS研修会を開催し、参考となる取り組み事例の共有や意見交換を実施した。	教職員、地域学校協働活動推進員、地区交流センター職員、地区交流センター運営協議会委員を対象として、学校、地域双方の課題や取り組みを共有する意見交換の場を設ける。	学校、地域が連携・協働した事業に取り組むことができる。	市独自のCS評価書の項目2-1「地域住民が参画し、協働活動が行われている」の各校の平均値	2.9	その他	3.2	3.06	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 現状の数値2.9から、本年度は3.06と、目標値の3.2まで近付いている。コミュニティ・スクール導入3年目となり、学校と学校運営協議会委員双方の意見交換ができるようになってきている。
052035_横手市	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	地域住民にコミュニティ・スクール及び地域学校協働活動に対する認知が不足している。	地区交流センターと連携しセンター報等で周知したほか、地区交流センター等において学校運営協議会を公開実施した。	地域住民が気軽に学校を訪問する取り組み等を実施し、学校や児童生徒が地域住民と交流を図るとともに、コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動に接する機会を設ける。	地域住民がコミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の取り組みを知っている。	市独自のCS評価書の項目5「コミュニティ・スクールに関する情報発信について」の各校の平均値	2.7	その他	3.0	2.77	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 現状の数値2.7から、本年度は2.77へ改善しているが、本年度の数値3.0には届いていない。取り組みを知ってもらうには、より多くの地域の方々に地域学校協働活動に参画してもらうことが必要であるため、引き続き、地区交流センターと連携しセンター報等で周知するほか、地域住民に対する地域学校協働活動の周知を進めていく。